

クイズ：20世紀初頭、天文学に大きく貢献した天文学者ヘンリエッタ・リービットは当時違う職名で呼ばれていました。その職名とは？

①ドライバー ②コンピューター ③サンプラー

S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

スペースパークボランティアの会 会誌

第 75 号 2025 年（令和 7 年）2 月 発行

福島県郡山市駅前 2-11-1 TEL024-936-0201

高柳電設工業スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）内



S.P.V ホームページ



★鉄道フェスティバルへの参加報告

2024年10月12日から14日までの3日間、恒例の「鉄道フェスティバル」が開催されました。案内・科学グループでは前回同様以下の活動でイベントに協力しました。

会員の熊田久士さんが自作の鉄道ジオラマとNゲージ車両を持ち込み運転の実演を行いました。ジオラマは畳1畳を超え普通乗用車には載らないので、職員の方々のご協力を得て科学館のワゴン車で熊田さんの自宅へ赴き搬入しました。



ジオラマの説明を聞くお子さんたち

精巧に作られたジオラマは大人気で、親子連れが熱心に観察する姿が見られました。特に車両先頭に付けたカメラで前面展望をモニターに映す演出は好評で、「自分もモニターに映った」とはしゃぐ子供達の笑顔が印象的でした。また、Nゲージマニアの要望に応え車両のバリエーションを増やしたことにより、最長16両編成の運転もありました。

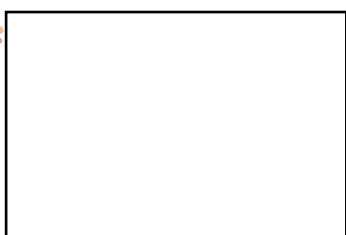
前々回から続く小島撮影の鉄道写真展示は、キハ40形やSL列車を写した「只見線の四季」を特集し、ジオラマを走行する只見線塗色の「キハ40」と併せて随時説明を行いました。

（案内・科学グループ：小島）

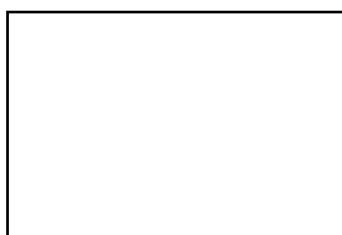
★スペースパークボランティアまつりを開催します!!

2025年3月1日（土）～2日（日）の2日間、10時～15時に科学館22階展望ロビーにてボランティアまつりを開催します。科学工作や折り紙工作、鉄道ジオラマ、昔あそび、星座早見盤づくり、天文写真の展示など楽しい企画満載でお送りします。スタンプラリー（↓）に参加して記念品をゲットしましょう!!

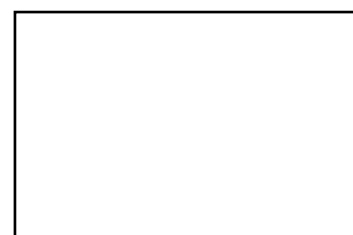
< スタンプ台紙 > … 3つ集めると記念品をもらえます!



案内



科学



天文



★つくばへ研修ツアーに行きました

SPVは2024年11月24日に他館見学研修ツアーとして茨城県つくば市のJAXA（宇宙航空研究開発機構）およびエキスポセンターに行きました。

JAXAは身分証明書提示の厳重な警備を通過して、ガイドさんとともに宇宙飛行士養成エリア、そして国際宇宙ステーション（ISS）にある日本の宇宙実験棟「きぼう」の管制室を見学しました。すべて本物の、現に運用している施設です。宇宙での生活や研究成果のガイドもあり、出入口のH-IIロケットの実機も見学できました。



H-II ロケット(実機)

エキスポセンターは1985年つくば万博の跡地を活用した広大な科学館。1階は子ども向け、2階は物質材料研など近隣の研究所とも協同した、本気の展示施設となっていました。

全体を通じ、日本が誇る科学の中心で本物に触れることができましたが、一方で我々はスペースパークの展示で宇宙服や宇宙生活を見慣れ、きぼうの実物大模型にも入り、20m級の同程度の大きさのプラネタリウムにも親しんでおります。改めて、つくばと変わらぬものを郡山で触れられる有難さを感じました。

（案内・科学グループ：熊本）

★天文グループの出張活動報告（須賀川市仁井田コミュニティセンター）

2024年9月28日に「小学生こども塾・天体観測会」の出張ボランティアが須賀川市仁井田コミュニティセンターで行われました。参加者は幼児1名・小学校1年4名・2年2名・4年9名と保護者14名でした。

ボランティアスタッフは1時間以上前より集合し、それぞれ個人で持参した天体望遠鏡の準備をしましたが、天候は曇りだったので講義室で開会后ボランティア紹介をし、パワーポイントや縷ビクセンのSo-TEN-Kenを使用しての説明となり、私が担当しました。今年度は天候に恵まれず雨天プログラムの出番が多く、低学年にも分かり易く説明できるように準備したつもりでした。小学生のカリキュラムとして理科の授業が始まるのは3年で天体の単元は4年からです。そのため、説明に子供たちを引き込むために、アニメの夜空シーンでの三日月の描かれ方を話題に盛り込むなど工夫しましたがとても苦労しました。

幸いなことに雲が切れ始めて星が見えてきたとの連絡があり、40分ほどの説明で観望会に移行できることとなりました。アルビレオ・土星を望遠鏡で観察し、夏の大三角形・北極星・北斗七星・カシオペア座等も目視説明する事ができました。地域の方々と夜に集まり望遠鏡での星空観測会は、子供たちにとって非日常で良い経験になったと思います。

観望会后に参加者の皆様の笑顔や今夜の体験の内容を話しながら帰る様子が見られた事が何よりの励みになります。今後も夜空の楽しさが伝えられるようにボランティア活動を続けたいと思います。

（天文グループ：内田）

クイズの答え：②

彼女は天体写真から得られた膨大なデータをひたすら手で計算するという行っていたためこのように呼ばれていました。

スペースパークボランティアの会（SPV: Space Park Volunteer）とは・・・
わたしたち、「スペースパークボランティアの会（S.P.V）」には、約70名の会員が登録しており、ふれあい科学館を活動の中心舞台として、各フロアや館イベントにおける、展示物の説明や科学工作の指導、天体観望会のお手伝いなど”楽しく”ボランティア活動を行っています。
常時会員募集中です。科学館にご連絡ください。出張活動依頼もご相談ください。